



藤村まさたか NEWS

藤村まさたかの実績ストーリー



子どもたちに寄り添う～「LINEいじめ相談」を創設!

府内の学校で確認されたいじめ件数は、昨年度2万7000件余りと過去最多に。深刻ないじめ問題に、子どもたちに少しでも寄り添いたいと藤村は「LINEいじめ相談」の創設に奮闘しました。

**子どもたちの
実情に合わせた相談を**

行政の従来のいじめ相談は「電話」。しかし、今の子どもたちの一番身近なツールは「LINE」などのSNSであることから、LINEを活用したいじめ相談を提案。

昨年3月、国で取り組む浮島衆院議員と連携を取り、LINE本社を直接訪問し大阪での導入を依頼。藤村の熱意に協力を快諾していただきました。

**粘り強く
「できない」を「できる」に**

いざ府教育委員会と議論すると「導入事例がない」「相談人員がない」「財源がない」など、できない理由のオンパレード。

藤村は民間人材の活用や国の補助金確保策など次々と解決策を提案。ついには、昨年10月の藤村の質疑で、今年1月から府立高校10校でLINEいじめ相談の試行実施が決定しました。

**大反響!～
電話の45倍の相談が**

試行実施では、LINE相談が電話件数を大きく上回り、「府のLINEいじめ相談が好評」などとメディアでも話題に。そして今年度からは、府内中高生39万人を対象に本格実施が決定。夏休みの前後には、深刻ないじめ相談や家庭での虐待相談も寄せられるなど、大きな反響を呼んでいます。



7年越しに実現～「大阪府犯罪被害者支援条例」制定へ

6月8日の府議会最終日、「犯罪被害者支援条例を求める請願」が全会一致で採択され、これを受け、松井知事は従来の方針を180度転換し、来年2月議会で条例案を提出することを表明しました。その背景には1人の声の実現に、藤村まさたかの7年越しの奮闘がありました。

「1日も早く条例を作って」の声に

初当選後まもなく、藤村は平野区在住の木村清次さん宅を訪れ、強盗目的の男に命を奪われた娘の芳美さんの遺影に手を合わせました。木村さんから「犯罪被害者に寄り添う条例の制定を」との要望を受け、議会のたびに条例制定を訴えました。しかし、知事の「条例は必要なし」との方針が固く、実現できない状況が続きました。

被害者家族の皆様とともに歴史を動かす

事態打開へ、木村さんが所属する「全国犯罪被害者の会（あすの会）」とともに、府議会に請願書を提出。他会派にも賛同を粘り強く働きかけ、ついに歴史に残る知事の方針転換を勝ち取りました。藤村は「皆様の声を反映した条例に」と決意を新たにしています。



「不妊治療」のワンストップ拠点が開設



10月1日、大阪急性期・総合医療センターに「生殖医療センター」がオープン。総合病院の強みを生かし、不妊治療から分娩後まで一貫した診療やがんなど他の疾患と並行した不妊治療がワンストップで可能となりました。

通学路などで交通安全対策を強化



市立喜連小学校の通学路に速度規制表示の新設など交通安全対策を強化。その他、加美南2丁目付近の中央環状線側道での出合頭事故対策や府営瓜破西住宅付近に防犯灯を14基設置する等、区民の皆さまの声を実現しました。

子どもたちに動物の命の大切さを



「保護犬のわんこ」プロジェクトの皆様が大阪府私立小学校連合会(17校)へ保護犬の写真集を寄贈される式典に立会いました。動物の殺処分ゼロをめざし、命の大切さを子どもたちが学ぶ取り組みを応援します。

府政に関するご相談・ご要望を、お気軽にお寄せください。

藤村昌隆 府政事務所

平野区平野東 3-6-15 平野マンション 106
fujimura.masataka@komei-fu.com

Tel 06-4303-8141

Fax 06-4303-8191

